

市民アンケート等から見た地域別構想の課題について

1 市民・自治会の意見整理

資 料：市民アンケート結果速報版 / 自治会長アンケート（現在調査中※）

抽出方法：他地域との比較、特徴が見られた結果

自治会長アンケートで共通する項目・地域性のある項目

※自治会長アンケート調査 11月下旬～12月

回収状況：52件：守山学区…10件、河西学区…12件、吉身学区…8件、玉津学区…3件、小津学区…9件、速野学区…8件、中洲学区…2件

表示の凡例： □→市民アンケート結果速報版 / ●→自治会長アンケート（中間報告）

（1）土地利用

南部地域	●市民交流ゾーンの整備は、教育施設等と相乗効果が出ているとまでは言えない。 ●湖南街道の通行は、市民交流ゾーンと相乗効果を発揮できているとまでは言えないのでは。 ●道の狭い先の土地は、なかなか買い手が見つらず、空き地のままで、草が生え放題になる。 ●駅前商店街の活性化（歩いて楽しい場所に）
中部地域	□9割が「農家が減少し農地が管理されずに住宅の周辺が荒れる。」「商店や医院などサービス施設の減少により不便になる」ことを心配 ●団地の高齢化に伴い、空き家の増加が予測される（持ち主に売却等の情報の提供）。 ●空き家に有害鳥獣が住み着き問題がある（行政で対策等検討してほしい）。 ●町内の中に業者への売却地が増え、売り物件として長期間経過した土地が存在 ●調整区域は、食材を調達する店もなく、制約で生活が不便 ●産業地域であるが、農業離れが生じており農業に対する理解が薄れてきている。
北部地域	□9割が「商店や医院などサービス施設の減少により不便になる」ことを心配

（2）自然環境

南部地域	●誘致した工場・研究所の環境対策の徹底 ●河川や自然環境に親しむ施設等の維持管理 ●水環境については、年間を通じた河川の水量確保をお願いしたい。
中部地域	□4割が「ホタルが生息しやすい河川環境の整備」に不満 ●40年前、入居当時は、何もない場所であったが、市民ホール、警察署、立命館、ハズイタウンが出来て非常に便利になったが、今後は明確なビジョンを持って進めていかなければ、緑豊かな守山市の特徴がなくなる。 ●大川および木浜内湖の水環境を第一に考えて欲しい。
北部地域	□5割が「ホタルが生息しやすい河川環境の整備」に不満

(3) 都市施設等

■道路・交通

南部地域	☐ 5割が「交通環境を整備し便利に暮らせるまちづくり」の優先を希望 ● 守山駅周辺や8号線に出るまでの渋滞の解消
中部地域	☐ 8割が「公共交通の利便性」、7割が「歩行者と自転車利用者が安全に通行できる道路」、5割が「買い物や通勤通学など日常生活のしやすさ」、4割が「幹線道路や生活道路が整備された利便性」に不満 ☐ 7割が「バスの減便やタクシー事業者の減少により買い物・通院などがしにくくなる」ことを「非常に心配」している。 ☐ 7割が「交通環境を整備し便利に暮らせるまちづくり」を優先することを希望 ● バスの大幅減便で、町民の生活の足ではなくなった。高齢化が進行して移動に困っている人がもっと気軽に利用できるモーターカーとなるよう進めて欲しい。 ● 緊急車両が進出困難な箇所が多い。
北部地域	☐ 約8割が「公共交通の利便性」、7割が「歩行者と自転車利用者が安全に通行できる道路」、4割が「買い物や通勤通学など日常生活のしやすさ」についての不満を持っている。 ☐ 7割が「バスの減便やタクシー事業者の減少により買い物・通院などがしにくくなる」ことを「非常に心配」している。 ☐ 7割が「交通環境を整備し便利に暮らせるまちづくり」を優先することを希望 ● モーターカーなどの制度も活用しにくく、高齢者になると課題として浮き彫り ● 通学路で速度を落とさない通過交通が多い。

■公園・緑地・緑化

南部地域	● 高齢化に伴い、河川清掃や公園の管理を辞退したいという声が多く聞こえる。今後の進め方について検討が必要
中部地域	☐ 3割が「公園緑地の整備」に不満 ● 野洲川公園の日常管理、新守山川の遊歩道にかかる整備（雑草、川ののり面）の頻度増加
北部地域	☐ 3割が「公園緑地の整備」に不満

■上下水道・河川

南部地域	☐ 9割が「道路や上下水道などの維持にはお金がかかり、老朽化や劣化が進むこと」を心配
------	---

(4) 景観

南部地域	● 新しい沿道の建築物による景観維持にもう少し取り組んで欲しい。
------	---

(5) 都市防災

南部地域	● 農地が減り水を貯えるところが減っているため、大雨等による守山川等の小河川の氾濫が心配。氾濫対策として、河川の整備をお願いしたい。
中部地域	● 自衛消防、女性消防の担い手不足 ● 学区内旧集落は緊急車両が進出困難な箇所が多い。（現実的には極めて難しいが、町内にゆとりスペースを設けるなど） ● 空き家が数件あり、防災防犯上で不安に思う。

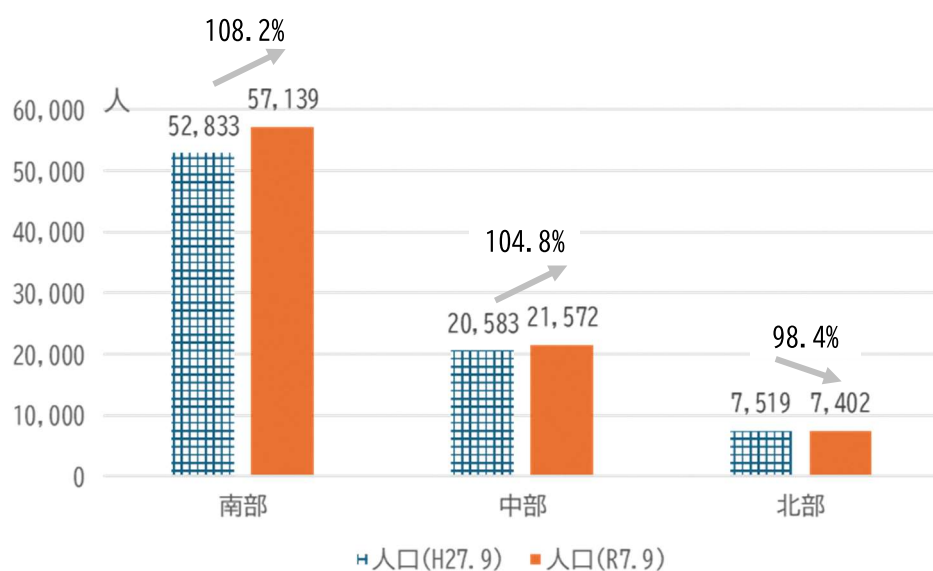
(6) 地域運営

南部地域	●自治会役員の成り手が居ない、自治会脱会希望者発生など今後は自治会組織自体の存続の問題が山積（行政は従来通り民生委員やら健康推進委員などを選出せよとの依頼ばかりで、自治会長として非常に苦慮するばかり） ●高齢化率（約33%）の上昇と高齢者のみの世帯が増加しており、住民同士のコミュニケーションの重要性が増加 ●高齢化も進み、単身世帯が増加。交流のないところでのコミュニケーションの取り方の検討必要 ●こども会の加入者が激減、地域コミュニティを維持するうえでもこども会に代わる取組の検討が必要 ●高齢化に伴い、河川清掃や公園の管理を辞退したいという声が多く聞こえている。今後の進め方について検討が必要
中部地域	□9割が「自治会などの活動が続けにくくなり、防災活動や地域の清掃等ができなくなる。」を心配 ●団体や役割に参画される方の減少、役員の成り手不足、自治会組織の維持に困難を感じる。 ●生活様式の多様化もあり自治会離れが進む。 ●団地内の高齢化が顕著で自治会運営を担う人材が集まらず今後の運営が懸念される。 ●高齢化が進み、高齢者世帯、独居老人世帯の増加傾向。高齢者支援サポートの充実が課題 ●地域コミュニティ維持が難しくなっている。 ●まずは事業数を減らし公的サービスを利用してもらう。市からの配布物の削減。民生児童委員、健康推進員、少年補導員は、引き受け手がいない（報酬制を考えてください）。 ●高齢化により、祭り事等に参加できる人の減少等、伝統行事の存続事態が課題
北部地域	□9割が「自治会などの活動が続けにくくなり、防災活動や地域の清掃等ができなくなる。」を心配 ●自治会加入率が低下し、自治会を存続運営する事が難しくなるのではと心配 ●役員高齢化により、従来行事の実施が困難で、地域の繋がりが希薄になる不安

2 3地域の人口等の状況

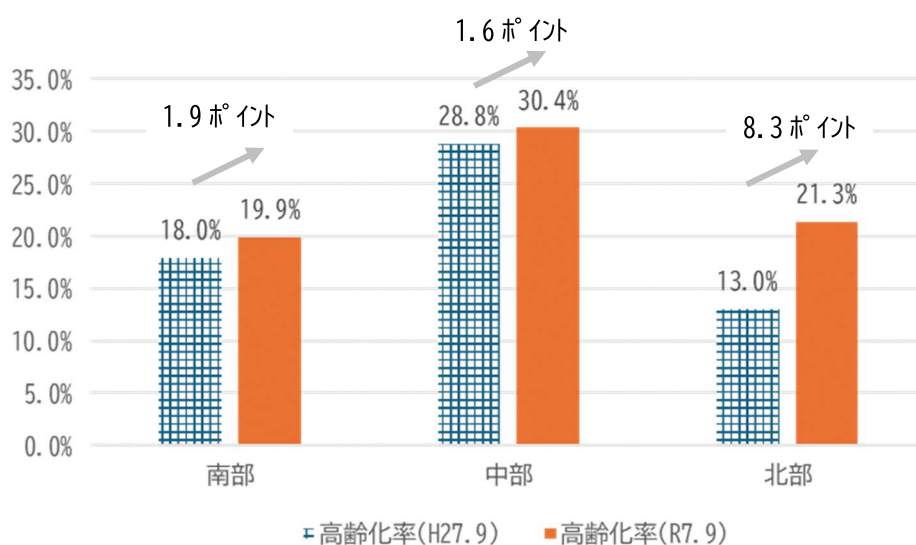
3地域別人口変化（平成27年⇒令和7年）

守山市全体 80,935人 ➡ 86,113人 106.4%



3地域別高齢化率変化（平成27年⇒令和7年）

守山市全体 20.3% ➡ 22.6% 2.3ポイント増



※市街化区域と市街化調整区域をまたぐ自治会は、住宅分布状況から目算で分配し算出した人口

資料：住民基本台帳